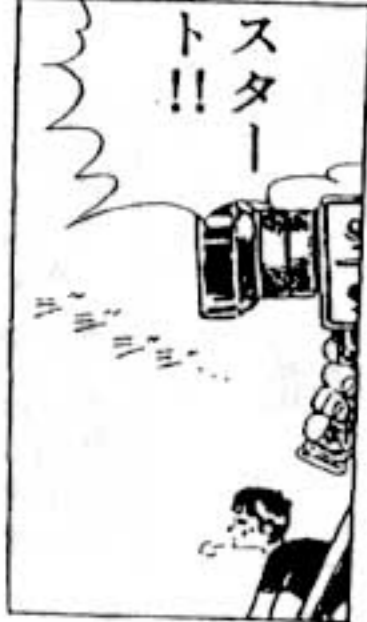


NEW GARAGE MOVIES FOR THIS CITY →
インディーズムービー
 INDIE'S MOVIE FROM CINEASTE

1995/DEC
12月号



ごあいさつ!

はじめまして、又はお久しぶりです。

①この新聞は一体どういうものなのか

突然こんなものを見て「何だこりゃ?」と思う方もいらっしゃるでしょう。すみません、この新聞は市内はもとより、いろいろなところで自分で映画を作っている人にお会いしたり、話をうかがったりして映画館ではやっていない、めずらしい、そしておもしろい映画を紹介してもらったり、宣伝したりしてゆきたいという新聞です。役に立つんだか何だか分かりませんがよろしくお願いします。

②自主映画とはいったいなんなの?

えー、さっきも書きましたがいわゆる「映画」というのはテレビや雑誌で宣伝していたり映画館でドカンとやっていたりするものですが、それと別に自分で映画を作っている人達とかもたくさんいます。(実は私もその1人なのですが、)たくさんいるのでその考え方もたくさんあります。ですが共通しているのはみんな映画が好きで自分にとって「おもしろい」映画を作るために(もちろんお客さんにとってもそれがおもしろいと信じて)努力しているという事です。人間ドラマあり、ファンタジーあり、SFあり、ガンアクションあり、私の知っているだけでも両平両足の指はるかに余る、おもしろい作品が自主映画として作られています。「自主」というくらいですからお金も自分達で出して、撮影や編集や役者さんの出演依頼も自分達でやります。お客さんに見てもらうための場所を作ったり、宣伝も自分達です。そんな映画のことを載せて、読んでいるひとに「あ、これ観たいなあ」という気持ちになっていただけたらこんなに嬉しいことはありません。というわけで、これからどうぞよろしくおねがいします。

とりあえず、今、面白そうな
自主製作映画

【厨の休日】
 監督/水戸ひびき
 PFFアワード95にて上映中、原作の「ストレンジハイ」は、95年1月の「インディペンデントシネマフェスティバル」にて上映。詳しくは、特集を

【裸足のピクニック】
 監督/文日史希
 これは面白い! しろVIDEON化されてますが「インディーズ」でも上映されます。ぜひスクリーンで!

【FALICE SUNCTUARY】
 監督/園道幸明
 マンハイム映画祭(国際批評家連盟賞受賞)とのこと、最近、そちらにも上映です。詳しくは「ガロ」を

なつたけ 聖堂: やりすぎたいと思ってる。

★映画をつくってみたい! そんなあなたに贈る **自主製作映画** の情報紙!!
 フツーじゃない映画をみたい!

—第1回—
おすすめ自主映画館



常本琢招
 1963年東京都山手区生まれ。早稲田大学経済学部在学中の編入生「につぼにーず・がーる」で85年 PFF 入選。卒業とともに中村の元プロに入社。佐木隆一、石川敏、藤岡伸一らの助監督を務めるが、自ら制作で(女子学生三部作)を完成させ、(山田)の母としてその名を轟かせた。93年ズームアップ映画祭新人監督賞受賞の「常本琢招 おしえて!」でプロデビュー。8mm、35mm、VTRとメディアを操縦しつつ、(ネオ=実写ニュー=アクション)的活劇性と(ポスト=につぼろマン・ポルノ)的エロティシズムが同居する(女の迷宮)のステージを刷新している。

<特集>
常本琢招 監督

◎毎月定期的に、面白い自主映画を上映して行こうという趣旨のこの上映会。第1回目は、地元仙台出身で、現在プロの映画監督として活躍中の、常本琢招監督の登場です! 見逃す手はない!!
 ※展覧は、アテナ・フランス文化センター・『新日本作家主編列伝』のパンフレットから転載させて頂きました

<作品解説>

につぼにーず・がーる...
 出演=中森裕美、桜井莉子、原田栞子
 撮影=徐瀬信六、香里あるか
 85年のびあひのフェスティバルに入選し、四方田犬彦によって絶賛された常本琢招のデビュー作は、1985年という時と切り離せない。黒沢清が「ドレミファ」の曲は驚くを振り、季刊リュウミールが創刊され、ウェンタースやエリセがメジャーな名前となったこの年に陽の目を見たこの作品のもつ情熱に対し、現在の僕たちはどんな風に接すればよいのか? (萩野洋一)

女高生 有希子の日記...
 出演・共同脚本=高橋由起
 主観カメラによる執拗な長回しが備え出す放浪後の一場面。どこか中村玉緒に似た被写体が、時に笑い、時に慍え、そして歌う。歌うんだ、めいめい。そしてそれを昇視する視点の妙。本当は8ミリカメラを捨てて、手でもつないで、スキップなんかしながら、どこかへ行ってしまいたかったんじゃないか、この作者は。いやいや、それとて恐らくは計算の内。常本琢招22歳の時、したたかな映画魂と、拭いきれない純情に刮目せよ。(クマガイコウキ)

	2:00PM~	3:30PM
12月9日(土)	有希子の日記 につぼにーず	じょしこう騎兵隊
12月10日(日)	有希子の日記 につぼにーず	じょしこう騎兵隊
	5:10PM~	6:30PM
12月10日(日)	有希子の日記 につぼにーず	じょしこう騎兵隊

<日時>
12月9日(土)
 東北電力ビル ワッツホール
12月10日(日)
 141ビル5階 創作アトリエ
 入場無料・カンパ制です。
 *2日目は会場が違います
 お間違えのないように。 じょしこう騎兵隊だっ!

編集後記
 「ひさびさ登場のこの情報紙、自主映画をみんなに知ってもらいたくてまた作りました。今度は長く続けられるよう、ガンバります。(よこざわ)」

じょしこう騎兵隊だっ...
 出演=富岡浩美、吉田明美、鈴木久美子、菅原恵美子
 この8ミリ映画ではひたすら物音が消滅することが夢見られている。たとえば空対空のヘリコプターのショットを見るとき、人は対象となるものの運動があまりに遅らかたであるために逆に静止しているように感じるだろう。常本琢招が夢想するのも、そうした不断の消滅が不意に停滞へ移行する、映画というものの不可思議な現実なのである。(萩野洋一)

発行/仙台 SINE ASTE
 連絡先/ _____

 スタッフ/斎藤拓生 岸浪清史